

Global Digital Transformation Partner

# 2020年3月期 第1四半期決算 補足説明資料



2019年7月31日

トランスコスモス株式会社

1. エグゼクティブサマリ
2. 連結損益計算書サマリ
3. セグメント別業績サマリ
4. 連結売上高の増減分析
5. 連結営業利益の増減分析
6. 単体サービス 営業利益の増減分析
7. 連結四半期業績の推移
8. 親会社四半期純利益の増減分析
9. 連結貸借対照表の概要
10. 単体サービス 分野別売上高
11. 設備投資・減価償却・従業員数・サービス拠点
12. 1Q 活動トピックス

# 1. エグゼクティブサマリ

## 成果

- 連結売上高は前年同期比+9.3%の増収、高い成長率を維持
- 単体サービスの収益性改善で営業増益に転換
- 国内関係会社は大幅な増収・増益で推移
- 海外関係会社は二桁成長を維持
- 販管費は売上・収益状況を踏まえたコントロールを維持

## 課題

- 単体サービス・海外関係会社の収益性改善・向上に向けた取り組みを加速

## 2. 連結損益計算書サマリ

- 売上高：主に単体サービスの受注増加が牽引して増収
- 営業利益：主に単体サービスの収益性改善が牽引して増益
- 経常利益：営業利益の増加により増益
- 親会社四半期純利益：営業利益・経常利益の増加により増益

単位：百万円	2019年3月期 1Q		2020年3月期 1Q		増減	
		(構成比)		(構成比)	(増減額)	(増減率)
売上高	67,083	100.0%	73,295	100.0%	6,212	9.3%
売上原価	56,497	84.2%	61,217	83.5%	4,719	8.4%
売上総利益	10,585	15.8%	12,078	16.5%	1,492	14.1%
販管費	10,590	15.8%	10,710	14.6%	120	1.1%
営業利益	-4	-0.0%	1,367	1.9%	1,371	-
営業外損益	476	0.7%	-95	-0.2%	-572	-
経常利益	472	0.7%	1,271	1.7%	799	169.1%
特別損益	147	0.2%	41	0.1%	-105	-71.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	258	0.4%	468	0.6%	209	80.8%

### 3. セグメント別業績サマリ

- 単体サービス：増収・増益。主要サービスの受注は好調、受注業務の採算性改善や販管費率低下による収益性改善
- 国内関係会社：増収・増益。上場子会社の好調な業績、新規連結子会社の影響などで売上・利益ともに増加
- 海外関係会社：増収・減益。中国・韓国子会社は売上堅調ながら新規案件立ち上げ等の影響もあり一時的に収益性低下

単位：百万円		2019年3月期 1Q		2020年3月期 1Q		増減	
			(構成比)		(構成比)	(増減額)	(増減率)
売上高	単体サービス	49,985	74.5%	53,279	72.7%	3,293	6.6%
	国内関係会社	4,859	7.2%	6,294	8.6%	1,435	29.5%
	海外関係会社	14,140	21.1%	15,921	21.7%	1,780	12.6%
	セグメント間取引消去	-1,902	-2.8%	-2,199	-3.0%	-297	-15.6%
	<b>(合計)</b>	<b>67,083</b>	<b>100.0%</b>	<b>73,295</b>	<b>100.0%</b>	<b>6,212</b>	<b>9.3%</b>
セグメント 損益	単体サービス	-57	-	991	72.5%	1,048	-
	(利益率)	-0.1%		1.9%			
	国内関係会社	144	-	473	34.6%	328	228.0%
	(利益率)	3.0%		7.5%			
	海外関係会社	-82	-	-93	-6.8%	-10	-13.2%
(利益率)	-0.6%		-0.6%				
セグメント間取引消去	-8	-	-3	-0.3%	5	63.6%	
<b>(合計)</b>	<b>-4</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,367</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,371</b>	<b>-</b>	

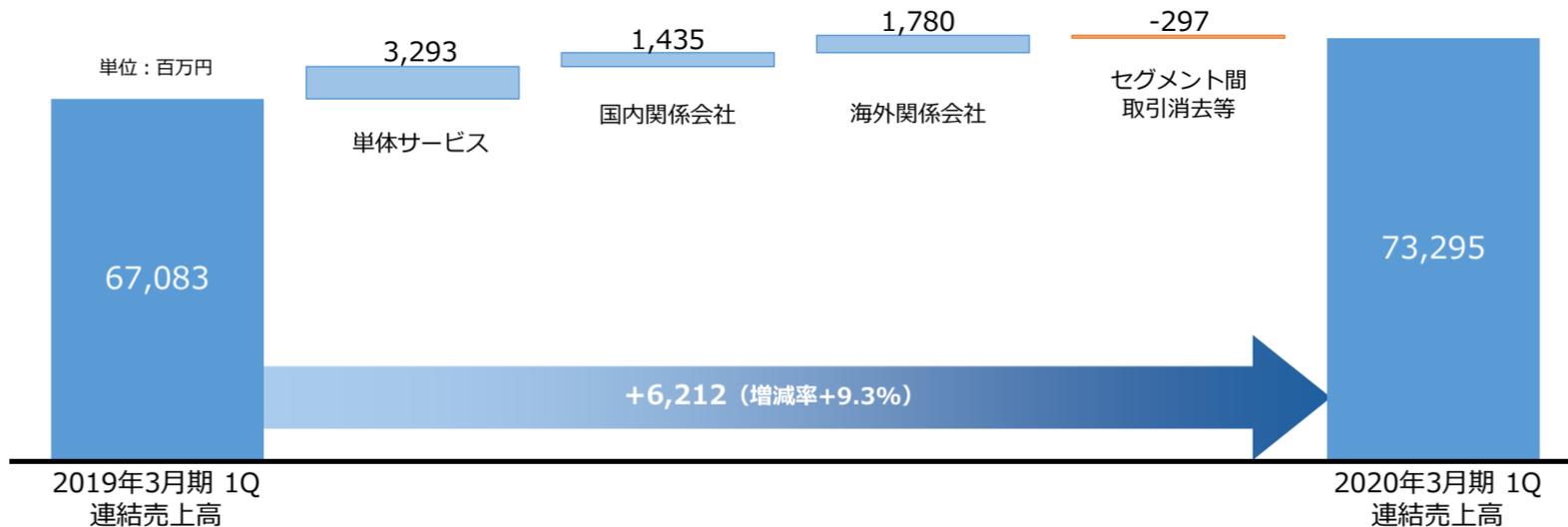
## 4. 連結売上高の増減分析

- 売上高 増加：+6,212百万円（+9.3%）

単体サービス 主要サービス（DEC・BPO）の受注増加で増収

国内関係会社 上場子会社の売上増加、新規連結子会社の影響などで増収

海外関係会社 中国・韓国子会社の売上増加で増収



# 5. 連結営業利益の増減分析

- 営業利益 増加 : +1,371百万円 (-%)

## 単体サービス

受注業務の収益性改善による売上総利益率の改善、コストコントロールによる販管費率の低下で増益

## 国内関係会社

上場子会社の利益増加、新規連結子会社の影響などで増益

## 海外関係会社

一部子会社の収益性が改善しているものの、韓国・中国子会社における新規案件立ち上げや先行投資などの影響で一時的に収益性が低下し微減益

単位：百万円



## 6. 単体サービス 営業利益の増減分析

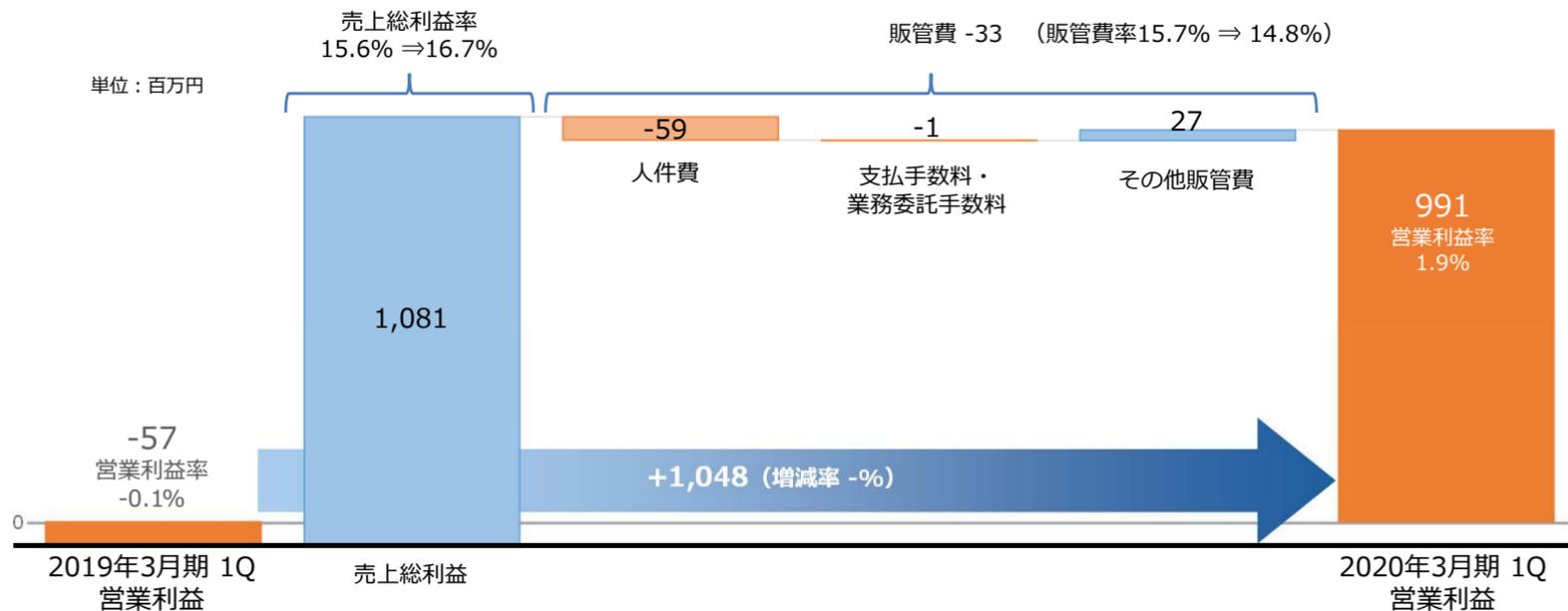
- 営業利益 増加 : +1,048百万円 (-%)

売上総利益

既存案件の業務改善や高収益案件の獲得などにより収益性が改善し、売上総利益率は1.1ポイント改善

販管費

売上増加に伴い33百万円増加したものの、コストコントロールにより販管費率は0.9ポイント改善



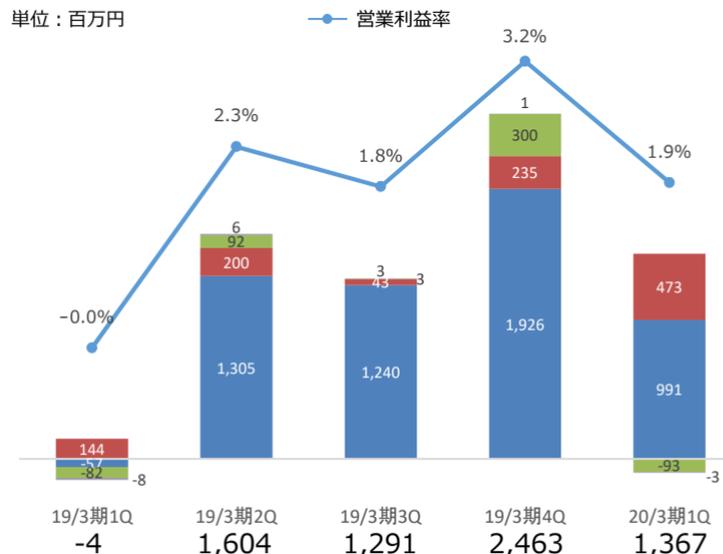
# 7. 連結四半期業績の推移

- 売上高：季節性の影響で4Q比では減少となるものの、増収トレンド・高成長率を維持
- 営業利益：季節性の影響で4Q比では減少となるものの、利益水準は大幅な改善傾向

## 売上高



## 営業利益

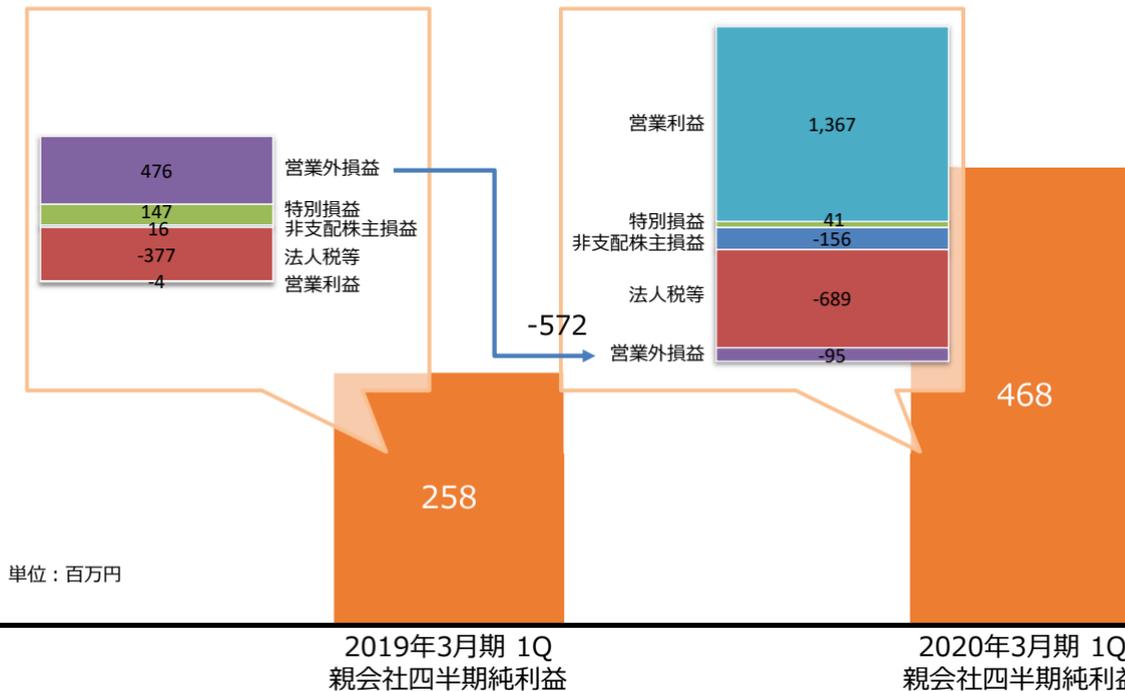


# 8. 親会社四半期純利益の増減分析

- 親会社四半期純利益 増加：+209百万円（+80.8%）

## 営業外損益

持分法投資損益は改善したものの、前期に計上したファンド運用益の減少などで572百万円減少



## 9. 連結貸借対照表の概要

- 資産：前期末の売上債権の回収等で「受取手形及び売掛金」が減少、前期決算の法人税等の納付や配当金の支払等で「現金及び預金」が減少
- 負債：当期支給対象期間分の引当積み増しで「賞与引当金」が増加、前期末の債務の支払等で「未払金」が減少
- 純資産：前期決算に係る配当で「利益剰余金」が減少、「その他有価証券評価差額金」が減少

単位：百万円	2019年3月末	2019年6月末	増減額	
流動資産	89,835	88,059	-1,776	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現預金-1,342</li> <li>・ 受取手形及び売掛金-1,379</li> </ul>
固定資産	45,433	46,551	1,117	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ のれん+362</li> <li>・ 投資有価証券-572</li> <li>・ 関係会社株式-554</li> <li>・ 関係会社出資金+1,304</li> </ul>
資産合計	135,268	134,610	-658	
流動負債	48,121	48,742	621	
固定負債	12,232	12,088	-143	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未払金-937</li> <li>・ 未払法人税等-725</li> <li>・ 賞与引当金+1,791</li> </ul>
負債合計	60,353	60,831	477	
純資産	74,915	73,778	-1,136	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 繰延税金負債-176</li> </ul>
負債・純資産合計	135,268	134,610	-658	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利益剰余金-900</li> <li>・ その他有価証券評価差額金-618</li> </ul>
現預金	36,032	34,689	-1,342	
有利子負債	13,668	13,175	-492	
Netキャッシュ*	22,364	21,513	-850	

\*Netキャッシュ=現預金-有利子負債

# (ご参考) 保有上場銘柄

- 投資ポートフォリオはモニタリングを通じた定期的な見直しを強化

## トランスコスモス単体の保有上場株式

単位：百万円

種類	銘柄名	市場	証券コード	時価
関係会社株式	応用技術株式会社	東証JQS	4356	4,088
	株式会社Jストリーム	東証マザーズ	4308	3,584
	eMnet Inc.	KOSDAQ	123570	1,519
	PFSweb Inc.	NASDAQ	PFSW	1,360
投資有価証券	株式会社メニコン	東証1部	7780	797
	株式会社ジーニー	東証マザーズ	6562	292
	Twilio	NYSE	TWLO	213
	日本航空株式会社	東証1部	9201	156
	ミズノ株式会社	東証1部	8022	25
	株式会社MTG	東証マザーズ	7806	21
	株式会社ジャックス	東証1部	8584	10
合計				12,069

## グループ会社保有の主要上場株式

種類	銘柄名	市場	証券コード	時価
投資有価証券	北京騰信創新網絡營銷技術股份有限公司 (TensynPRC)	ChiNext	300392	4,128

※時価は2019年7月30日終値で計算。ただし、PFSweb、Twilioは7月29日終値で計算

# 10. 単体サービス 分野別売上高

## ● 分野別

単位：百万円	2019年3月期 1Q		2020年3月期 1Q		増減率
	(構成比)		(構成比)		
情報通信業	12,672	25.4%	13,867	26.0%	9.4%
製造業	8,384	16.8%	9,692	18.2%	15.6%
金融・保険業	8,745	17.5%	9,118	17.1%	4.3%
サービス業	7,793	15.6%	7,660	14.4%	-1.7%
卸売・小売業	6,677	13.4%	6,871	12.9%	2.9%
その他	5,712	11.4%	6,069	11.4%	6.3%

情報通信業：大型スポットの獲得、通信キャリア関連業務などが増加  
 製造業：主に自動車メーカー、一般機械、化粧品向け業務などが増加  
 金融保険業：主に保険会社向け業務などが増加  
 サービス業：主にメーカー系CCの業務などが縮小  
 卸・小売業：主にエネルギー関連卸、海外製品卸売向け業務などが増加

## ● 顧客別売上高（上位5社）

単位：百万円	2019年3月期 1Q		2020年3月期 1Q		増減率
	(構成比)		(構成比)		
A社（PC/AVメーカー）	1,869	3.7%	1,473	2.8%	-21.2%
B社（人材広告）	912	1.8%	838	1.6%	-8.1%
C社（自動車メーカー）	646	1.3%	687	1.3%	6.3%
D社（建材・設備機器）	699	1.4%	681	1.3%	-2.6%
E社（住宅メーカー）	603	1.2%	653	1.2%	8.3%

A社：CCを中心としたDECサービス業務が減少  
 B社：DMを中心としたDECサービス業務が減少  
 C社：設計開発などBPOサービスの業務が増加  
 D社：設計支援業務などBPOサービスの業務が減少  
 E社：設計支援業務などBPOサービスの業務が増加

# 11. 設備投資・減価償却・従業員数・サービス拠点

## ● 設備投資額・減価償却費

単位：百万円	2019年3月期 1Q	2020年3月期 1Q	増減率
設備投資額	903	865	-4.2%
減価償却費	761	800	5.1%

## ● 従業員数

	2019年3月末	2019年6月末	増減
連結従業員数	30,051	31,132	1,081
(臨時従業員数)	24,866	24,808	-58
単体従業員数	14,106	14,984	878
(臨時従業員数)	21,407	20,859	-548

## ● サービス拠点

	2019年3月末	2019年6月末	増減
サービス拠点	171	167	-4
(国内サービス拠点)	62	63	1
(海外サービス拠点)	109	104	-5

### ● 設備投資

国内子会社および海外子会社での投資額が減少

### ● 減価償却

主に単体サービスと国内関係会社において過年度にセンター・事業所を新設・増強した影響などで増加

### ● 従業員

単体の新卒増加および臨時従業員の無期雇用化より従業員数が増加

### ● サービス拠点

国内は、MCMセンターさっぽろ創世スクエアを新設。海外は、ベトナムにホーチミン第三センターを新設。一方で、中国・欧州の一部関係会社・パートナー拠点が減少

\*サービス拠点は、自社サービス拠点のほか本部・支社・営業所・関係会社・パートナー等の拠点も含む

## マレーシアにおいて 海外多言語広告運用サービスを開始

- トランスコスモスマレーシアとイーエムネットジャパンが業務提携し、インバウンド向けデジタル広告・海外人材採用広告サービスなどの販売を強化
- 「グローバルデジタルマーケティングセンター」を開設し、多言語の広告運用・クリエイティブ制作・現地向けソーシャルメディア運用などを提供
- 今後も提供サービスの範囲を拡大し、ASEAN地域での事業展開のさらなる強化を目指す



## 音声認識ソリューション「transpeech」の 新機能として「AIディフェンダー」を開発

- AIが自動でコールセンターの応対をチェックする「AIディフェンダー」を開発
- ヒトに比べて処理時間を最大98%削減
- ワンクリックの手軽さでヒト並みの高精度を実現



## 国内初のブロックチェーンを使用した本格的な コンタクトセンターアプリケーションを開発へ

- 顧客データの安全で効率的な利活用とデータの利便性向上を目的として、ジャスミーが提唱する「Jasmy Initiative」に参画
- 次世代のコンタクトセンターの実現に向けたアプリケーションの開発・実証実験に着手
- 安心・安全に利用できるコンタクトセンターの基本環境の提供を目指し、本格サービスの開始に向けた調査・検討・検証を実施



## 東京海上ホールディングスに 「5A」を金融業界で初めて導入

- 日本国内で独占的に提供する新たなマーケティング概念である「5A」を用いたロイヤルティマーケティングを実施
- デジタルマーケティングなどのアウトソーシングサービスに「5A」尺度を組み合わせた『5A LoyaltySuite』を活用し、ロイヤルティのさらなる強化とブランド戦略に活用
- 「5A」導入で得られた評価をもとに、リテンション向上や保険商材のクロスセルなどの施策を支援していく予定



## ▶ 新サービスのリリース・既存サービスの拡充

- 音声認識ソリューション「transpeech」をアップグレード
- 広告運用業務のクラウド自動最適化ツール「Shirofune（シロフネ）」を独立系インターネット広告代理店で国内初の大規模導入
- 豊富な知見と実績をもとに機能強化した、デジタルマーケティングを機能的に提供するSaaS型 DEC CMSの提供を開始
- オンライン上の実店舗情報を一括管理するソリューション群「Yext」を取り扱い開始
- 主要クラウドECシェアNo.1の「ebisumart（エビスマート）」を「eCHUBシリーズ」のストアフロントシステムとして提供開始

## ▶ サービスの提供実績

- 日本産業カウンセラー協会がLINEメッセージ配信ツール「KANAMETO（カナメト）」を活用
- 鎌倉市の「子育て情報」や「イベント情報」を配信するLINEの活用を支援開始
- ANAマイレージクラブ会員向け新サービス【ANA Sky Gotcha!mall】をスタート
- ワイン通販サイト「エノテカ・オンライン」にWebチャットシステムを提供

## ▶ 子会社・センター拠点の拡充

- オペレーション拠点「マーケティングチェーンマネジメントセンターさっぽろ創世スクエア」を新設
- ベトナムのオペレーション拠点を拡張

## ▶ パートナー・受賞・その他

- トランスコスモスグループのMagic PandaとUNQ、中国最大手ECプラットフォーム「T-Mall国際」主催のイベントにおいてBEST TMG PARTNER AWARD OF FY2019大賞を受賞
- 「島ぜんぶでおーきな祭 第11回沖縄国際映画祭」に協賛
- Yahoo!マーケティングソリューション パートナープログラムにおいて最適な広告運用手法を実行する『広告運用パートナー』を取得
- トランスコスモスコリア、韓国仁川（インチョン）地域障がい者団体にパソコンを寄贈
- トランスコスモスチャイナ、Alibabaデータバンク認証取得
- BPOサービスの品質向上を目的に、BPOベストオペレーションコンテストを開催
- C Channelと合同で「次世代インフルエンサー発掘プロジェクト」を始動
- JR東日本が実施する「案内AIみんなで育てようプロジェクト（フェーズ2）」に参画
- 米ガートナーが発刊したBPO市場レポートにおいて、世界で14位を獲得
- Salesforce Marketing Cloud認定資格保有者が100人を突破



## **IRに関するお問い合わせ**

トランスコスモス株式会社 管理本部 IR室

Tel. 03-4363-0124

E-Mail. [ir\\_info@trans-cosmos.co.jp](mailto:ir_info@trans-cosmos.co.jp)

- 本資料に含まれる将来の予測に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本経済、株式市場の動向や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあります。従って当社として、その確実性を保証するものではありません。
- 本資料では、金額は百万円未満切捨、%は小数点以下第2位を四捨五入で表記しています。